

## 教職大学院院生 H.M さんの感想

私は来年度から、中学校の教員として働く予定です。シンポジウムを聞く前までは命の教育に対して漠然としたイメージを持っていました。

本シンポジウムを聞いた中で、最も印象に残った言葉は「レジリエンス」という言葉です。レジリエンスは落ち込んでも立ち直れる精神的弾力性のことを指すことを知りました。レジリエンスは持って生まれるものだと思っていたが、それは育てられることを知りました。シンポジウムの中では、子どものレジリエンスのことが取り上げられていたが、児童生徒だけではなく、教師である自分自身にも重要なものであるという風に思いました。近年では、教師のうつなどの休職が目立っているので、自分自身もレジリエンスをもって、教員として頑張っていきたいと思いました。

他にも、子ども達には自分の中のSOSを伝えることだけではなく、他人へのSOSを打ち明けられた時にどのように対応するかを考えさせる指導を心がけていきたいと思いました。そのためには日ごろから、子ども達とかかわりを持っていく必要があると思いました。

今回のシンポジウムで学んだことを現場に出て活かしていきたいと思います。ありがとうございました。